

ゆたかかな労働と 生活の場をめざして

あさやけだより No.517

発行. 社会福祉法人ときわ会
〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地
URL <http://www.asayake.or.jp>





松嶋 慶二郎さん
(あさやけ作業所)

仲間紹介

ひとりひとりが太陽



お菓子づくりの計量が得意

新型コロナウイルスの影響で二〇二〇年二月末から作業所を休み自宅待機をしていた松嶋さん。通所を再開したのは翌年の秋ころ。そこからショートステイ生活を経て、グループホームに入居しました。段々とグループホームで過ごすことにも慣れ始め、今は自分の部屋には自分の好きなものを飾ったり好きなテレビを見たり、土日には多摩湖まで散歩に行く日々を過ごしています。土日の多摩湖は一人で電車に乗って向かっています。休みのお昼ご飯も自分で買いに行って、歯科通院もバスを利用して向かっています。

こうして聞くと一人で過ごすことが好きなように思われますが、人とかかわることが好きで毎日職員に向けて手紙を書いてきてくれます。不安に思っていること、グループホームで食べたもの、土日に行った多摩湖の話、歯医者さんの結果、言葉で口にするよりも、文字に書いて自分の思いを伝

えることが得意な松嶋さんです。今年度は長く一緒に仕事をしていた職員が異動したことなく、松嶋さんを取り巻く環境が変化しました。日々不安に揺れながら毎日作業所に登所して、休憩をしながらも仕事に取り組んでいます。お菓子作りの班に所属している松嶋さんは、液体の計量をするのが得意です。「六〇gはかってね。」と伝えると五五gあたりから慎重に入れ始め、五九gでストップすることが出来ます。最近では六〇gピツタリで止めることも多くなってきて、まだまだ得意を伸ばして仕事に励んでいます。

松嶋さんを取り巻く環境は職場も生活の場もここ数年で大きく変化しました。自分の周りが変わることでも不安にならない人はいないでしょう。それでも毎日仕事に來ています。その不安に寄り添いながら、これからも一緒に仕事が出来たらと思っています。

運動の力を信じてみませんか。おおい、突然何を言い出すんだ。そう思われた方も少なからず居るのではないだろうか。しかし、私は真面目に運動の力を信じている。あさやけの歴史を知れば知るほど、強く思う。一九七三年にめざす会ができた。学校はまた入学選考があり、障害のある子どもたちに対して就学免除が行われていた時代。法律としては優生保護法により障害のある人に対して強制不妊手術が行われていた時代。そのような時代に作業所を作ろうと動き出したのである。めざす会の発足から今年で五十年。あさやけは、この五十年の間、障害のある当事者と一緒にゼロからイチを作るたくさんの方々の運動を行ってきた。無認可作業所問題の解決や小川駅のエレベーター設置、自立支援法の撤廃運動などたくさんの方々の運動に携わってきた。あさやけの歴史は運動の歴史、障害福祉の歴史は運動の歴史と言いつてもよいのかもしれない。

しかし今のあさやけはどうだろうか。なんとなく運動に対する意識が薄れている気がすると思うのは私だけだろうか。もしかすると私に気が付いていないだけで、職員の多くに変わら

運動の力を信じて

あさやけ作業所
廣瀬 公平

ず福祉のあり方に対する問題意識があるのかもしれないが。そのような希望を持ちつつも、毎年の国会請願署名運動の実績は減少傾向にあるのは事実である。

障害者権利条約の対日審査から間もなく一年が経つ。私たちは国連からの勧告（総括所見）をどのように受け止め、なにを学ぶのか。そして国連からの勧告が制度や政策、障害のある人の生活に活かされるように声を上げる必要があるのではないだろうか。なぜなら黙っていても権利は実現しない。これまでのあさやけの歴史のように、障害のある仲間たちとともに、ゆたかな労働と生活の場をめざし運動の力を信じていきたい。そして旧優生保護法問題解決に向けた訴訟や介護保険優先の原則に對しての訴訟、いのちのとりで裁判など、全国の仲間たちが今日も声を上げ運動を起していることは忘れてはいけない。

第四十六次国会請願署名運動にご協力いただいたみなさま、ご協力いただいた署名は全国の仲間たちとともに国会議員に直接渡すことができました。ありがとうございます。引き続きのご支援宜しくお願い致します。



月二回昼休みに、みんなで歌う歌の時間が戻ってきた！

2023年アートフェスティバルにむけて あさやけ鷹の台作業所 絵画クラブ

毎週水曜日の仕事終わりに「絵画クラブ」を開いています。クラブと言っても内容は決まっておらず、何を何枚描くのも自由。さらにはいつはじめていつ終わるかも自由です。ほとんど毎回参加しているメンバーもいれば、「今日は描いてく。」と言って一気に3枚ほど描き上げるメンバー、あまり描くことはせず、黙々と取り組むメンバーを見ながらのんびりと過ごすメンバーなど、みんなゆったりと、思い思いに過ごしています。

絵画クラブ以外にも、作業所では絵を描く時間はまだまだあります。例えば作業が早く終わり、時間が空いてしまったとき。「絵を描く人〜！」と呼びかけると「描きます！」と元気よく返事をしてくれるメンバーが複数人いることも少なくはありません。また、第三土曜日に行っている土曜開所では、季節の花を見ながらそれを描いてみたり、ぬりえをやってみたり、チラシなどをちぎって貼ってみたり…などなど、いつもとは違うテーマを決めたりしながら、みんなで作品を作ることもあります。

様々な機会を通してみんながアートに触れ、あっという間にたくさんの作品が集まります。

6月30日から開催されるアートフェスティバル。毎年どの事業所にも負けじとたくさんの作品を展示しているのがあさやけ鷹の台作業所です。アートフェスティバル前は、数日に分けて1回で半日ほどの時間を利用して、アートフェスティバルに向けての作品を描いてもらっています。参加者は基本的に全員。普段絵を描かない方も、ほとんどの人が参加してくれます。時間を長めに設定しているため、あっという間に書き終える人、時間いっぱい何十枚も描く人、ゆっくりと時間をかけて1枚を描く人など、取り組む様子は様々ですが、みんなで和気あいあいと楽しく描き、描き終わったあとはみんな「見て見て！」と嬉しそうに出来た作品を見せてくれます。

絵を描くことが大好きなメンバーたち。今年のアートフェスティバルも、素晴らしい作品がたくさん集まりました。ぜひ多くの方に足を運んで見てもらえたらと思います！



小平市内の障害者通所施設の利用状況と特別支援学校卒業生の受入状況

No.	事業種別	通所施設名	定員	2022年4月の利用者数		2023年4月1日現在		2023年4月の実員数	
				2022年4月の利用者数	年度途中の入退所退所者数	年度途中の入退所入所者数	来年度受入者数 新卒 その他		
1	就労移行支援	ワークセンター夢の樹	10	12	10	5	1	1	9
2		ザングリーン	6	0	0	0	0	0	0
3		あさやけ喜平橋食堂	6	0	0	1	0	0	1
就労移行支援3事業所の合計			22	12	10	6	1	1	10
4	就労継続支援 B型	ワークセンター夢の樹	50	75	4	5	0	0	76
5		小平第二みどり作業所	40	46	0	2	2	0	50
6		パウム	20	26	3	3	0	0	26
7		あさやけ風の台作業所	30	30	0	1	0	0	31
8		おだまき工房	10	10	2	5	0	0	13
9		おだまき	20	36	4	3	0	0	35
10		リズム工房	30	26	0	0	0	0	26
11		のぞみ作業所	55	59	1	0	1	0	59
12		あしたば作業所	20	30	0	0	0	0	30
13		小平福祉園サンライズ	10	9	0	0	1	0	10
14		はなこピーンズ	20	15	2	5	0	1	19
15		plens	20	35	6	3	0	2	34
16		あさやけ第二作業所	40	57	4	2	0	0	55
17		ザングリーン	30	36	4	3	0	0	35
18	あさやけ喜平橋食堂	14	0	0	7	1	1	9	
19	食事サービスセンターなごみ	20	19	19	0	0	0	事業廃止	
20	クラブハウスはばたき	20	14	5	6	0	0	17	
21	A型	みくま	17	18	4	3	0	0	17
就労継続支援18事業所の合計			466	543	58	50	5	4	544
22	生活介護	生活リハビリセンター六三四	20	36	3	6	0	0	41
23		生活リハビリセンター雅	20	20	0	3	1	0	24
24		生活リハビリセンター絆	20	26	3	0	0	0	23
25		夢風船	20	29	0	1	1	0	31
26		夢の樹みどり	40	45	0	0	0	0	45
27		澄水園ひだまり	16	14	2	5	1	0	18
28		小平市立あおぞら福祉センター	45	41	0	0	3	0	44
29		小平市立たいよう福祉センター	20	19	1	2	0	0	20
30		小平福祉園リーフ	20	31	0	3	0	0	34
31		あさやけ作業所	50	58	1	1	1	0	59
32		あさやけ風の作業所	40	46	3	0	1	0	44
33		ひまわりばたけ	40	38	1	1	2	0	40
34		リズム工房	10	12	0	0	1	0	13
35		かりん	10	11	1	1	5	0	16
生活介護14事業所の合計			371	428	15	23	16	0	452
35	重心通所	整備園通所部ういず	12	17	0	0	1	0	18
36	地域活動	地域活動支援センターはばたき	10	38	0	7	0	0	45
37事業所の総合計			881	1038	83	86	23	5	1069

網掛けは定員※

○定員超過率/就労継続支援支援は116.7% 生活介護は122.1%

障害者の卒後と生活を考える会調べ

温泉はいいなあ、4年ぶりの宿泊旅行 ～マザー牧場と鴨川シーワールド～

あさやけ風の作業所

6月8日から9日の一泊で、コロナウィルス流行の影響でながらく断念していた風の作業所の旅行をやっと実施することができました。みなさん心待ちにしていたようで楽しそうな様子が各所で見られ実現できてよかったと心から感じました。

1日目のマザー牧場では、到着後おいしいお昼を食べた後に、広大な敷地、綺麗な景色を堪能して、色々な動物たちと触れあいました。班ごとに分かれての行動でしたが、牧場ならではのソフトクリームを味わったり、売店でお土産を選んだり皆さん思い思いに過ごされていたようです。

宿泊先は鴨川グランドホテルで、まずは温泉に入り一日の疲れを癒してもらいました。ゆっくりと温泉につかり心身ともにリフレッシュしたあとは、ホテルの美味しい夕食を味わい、お待ちかねの宴会です。楽しい雰囲気の中カラオケで大いに盛り上がりました。

2日目は鴨川シーワールドでしたが、あいにくの空模様で雨が降っていました。イルカショーなどは外で行われるため残念でしたが、室内も十分に広く見ごたえのある展示が沢山あり楽しめたのではないかと思います。

久しぶりの旅行ということで、新しい仲間が増えるなど作業所の状況も変化しており安心して安全に旅行を楽しんでもらうために事前に入念な準備をしてきました。その甲斐もあり、ボランティアさん、他事業所からの応援職員のご協力のもと旅行をととても楽しい思い出として残すことができました。この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。



大西光子さんが本を出版しました。

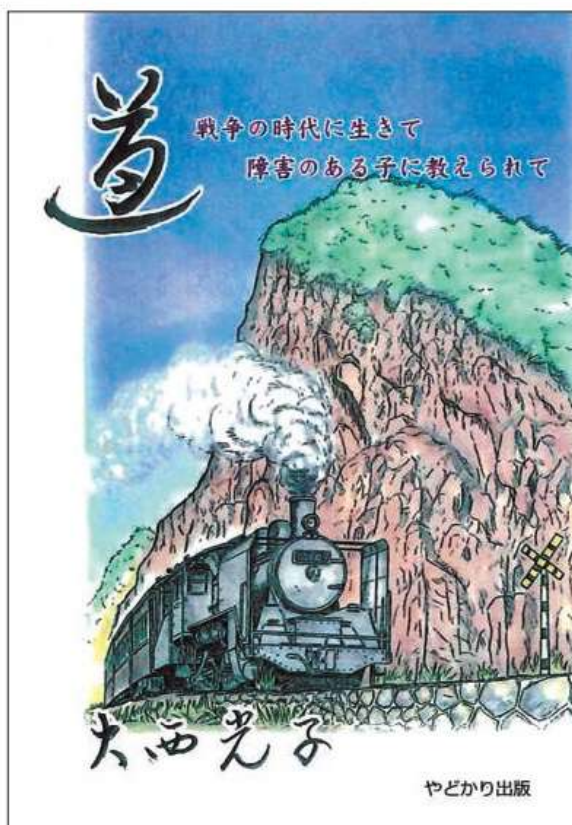
「道」

戦争の時代に生きて
障害のある子に教えられて

*題字はあさやけ作業所父母の高野智子さんが今年1月に書いてくださいました。

4月28日付の東京新聞の紹介記事です。

バリアフリーという言葉が日本で定着するずっと以前のことだ。今では当たり前に見かける駅のエレベーター。その設置に向け、全国に先駆けて運動した女性がいる。大西光子さん(89歳)だ、改めて振り返ると、半世紀近く経た今に通じる教訓が浮かぶ



価格 1,000円 ぜひご購入、ご高覧下さい。(ときわ会の事業所等で販売しています)

あさやけの支援者及び地域の皆さまへ

わいわいバザール中止のお知らせ

あさやけ設立時から毎年、地域の皆さまのご協力を頂き開催してきた「KODAIRA わいわいバザール」ですが、今年も会場確保がむずかしいため開催を中止にすることにしました。毎年バザールには、品物を提供してくれている方、楽しみに待っている方など多くの皆様に協力を頂いており、中止は大変残念ですが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

■感染防止のため、新聞・雑誌等の回収品は玄関前にお出しください。ご協力をよろしくお願い致します。回収時間は午前9時から12時30分になります。

廃品回収のお知らせ

5月の廃品回収の回収量は12,409kgでした。内訳は新聞8,458kg、雑誌・ダンボール3,951kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて168,671円でした。

次回は7月15日(土)が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。